

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オハイアライ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～	2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		～	2025年 2月 15日

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりに向き合い、それぞれの個性を理解した上での療育提供を行っている。 一人で出来る、自主的に行えることへの支援にフォーカス。 お子さん一人ひとりの得意分野を生かして、自己肯定感を養っていきます。	「社会性」を支援することに重きを置いており、それに必要な『個別支援』と『手段療育』のバランスを意識してプログラム提供を行っている	職員研修を通じて、スキルアップを図り、療育提供の質を高め、幅を広げる努力を行う
2	オープンな事業所を意識し、児発管と管理責任者の顔が見える事業所を推進	毎月開催している「オハイアライの宴(参観日)」に保護者の方に積極的にご参加いただき、子育て支援サポートに力を入れている	開催曜日を毎月変更し、より多くの保護者の方にご参加いただけるよう工夫を取り入れた
3	専門支援を行う上で、経験豊富な正社員スタッフの充実	様々なスキルを有する人材の採用により、年齢等に捕らわれない幅広い職員を配置 ベテラン保育士、特別養護学校教諭、理学療法士、作業療法士、経験豊富な児童指導員	パートタイム職員の幅も広げて、より広い人材確保に努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアル運用に際して、保護者への情報提供や周知徹底に至るまでのプロセスが不足している	開所1年目で試行錯誤をしながら、進んできているため、様々な点での改善・改定が都度発生している	情報提供アプリの「掲示板」機能等を有効活用し、事業所内イベントやマニュアル改定などの情報発信をより丁寧に行い、保護者様への周知を図る
2			
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	オハイアライ	公表日	年月日	利用児童数	9	回収数	8
------	--------	-----	-----	-------	---	-----	---

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	8				広さもあるので運動もしやすそうです	ご意見、ありがとうございます
	2	8				職員の方も増えているので	ご意見、ありがとうございます
	3	8				勉強するところ、遊ぶところとキッチンと分かれていて分かりやすいと思います お子さまに応じて無理のないように対応していると思います	ご意見、ありがとうございます
	4	8				参観等で何うときれいにされていて、予定表などもわかりやすいと思いました	ご意見、ありがとうございます
適切な支援の提供	5	8				苦手な事、得意な事をその場に応じて支援して頂いています	ご意見、ありがとうございます
	6	8				前の月に出していただいた計画表などに合わせて支援して頂いていると思います	ご意見、ありがとうございます
	7	7	1			子どもの様子や保護者の話もよく聞いてくださった上で、支援計画を作成してもらっている 面談したうえで、細かく個別支援計画が作られています	ご意見、ありがとうございます
	8	8				個別支援計画等、親の意見や子供の状態に合わせて設定されていると思う	ご意見、ありがとうございます
	9	8				前の月に次の月の計画が分かり、イベント等もいつも楽しみにしています	ご意見、ありがとうございます
	10	8				いつも色々な活動プログラムを作成してくれている 課外活動などもあり、子どもも楽しんでいます。	ご意見、ありがとうございます
	11	3	2		3	交流しているかわからない 近所の公園にもよく連れて行っていただいています	夏祭りの際には、地域のお子さまにもお声がけをさせていただきましたが、ご参加がありませんでした…
	12	8				事業所に入る前に説明して頂きました	ご意見、ありがとうございます
	13	8				日々や面談などで説明して頂きました	ご意見、ありがとうございます
	14	7			1	毎月子どもの様子を見学できる日を設けてくれている 参観日も月に1回ほどあり、参加させていただいています	ご意見、ありがとうございます
保護者への説明等	15	8				送って頂いたときに、毎回その日の様子を教えて頂けるので活動の様子が分かりやすい 連絡帳・送迎時・れんらくアプリで情報が共有できている 連絡帳などでまめに状況をお伝えしています	ご意見、ありがとうございます
	16	7			1	助言してくれている 面談や参観の際にして頂いています	ご意見、ありがとうございます
	17	8				いつも熱心に子供に接してくれます	ご意見、ありがとうございます
	18	5	1	1	1	兄弟同士の交流の話は聞いていない 参観日に他の保護者にお会いしたり、妹もいつもお世話になり楽しんでいます	参観日の活用をより強化する。また、にご兄弟をお連れ頂いた際には、活動にもご参加いただけるので、案内を工夫します。
	19	7			1	聴覚過敏の対応、低筋長に対するリハビリ 何か相談するときは熱心に聞いていただき、提案などを言って頂いております	ご意見、ありがとうございます
	20	7			1	連絡帳で情報伝達している いつも気遣いをして頂いています	ご意見、ありがとうございます
	21	7			1	その日の活動内容の情報を写真付きでれんらくアプリで発信してくれている ホームページにも写真付きで定期的に発信されています	ご意見、ありがとうございます

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				日々送って頂く写真なども留意されていると思います	ご意見、ありがとうございます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		2	入所前に説明して頂き、訓練もされていると思います	マニュアル改定時など、定期的に発布するよう心掛けます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2	定期的に避難訓練をして頂いております	ご意見、ありがとうございます
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1		1	説明されたかもしれない 課外活動でも安全や迷子にならないよう工夫をされていると思います	ご意見、ありがとうございます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1	ぶつけた時も冷やしていただいて報告して頂きました	ご意見、ありがとうございます
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8				先生方にも寄り添って頂き、安心して通っています	ご意見、ありがとうございます
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1			基本的には楽しみにしているが、たまに行きたくないという時がある 楽しく通っている 体調不良でお休みする日も行きたがるくらい楽しみにしています	ご意見、ありがとうございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				子どもの特性を理解してくれて、それにあつた対応支援、アドバイスをして助かっている 先生方も熱心でイベント等も充実していて満足しています	ご意見、ありがとうございます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
オハイアライ		R7年 3月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		限られたスペースでも体を動かす療育ができるような工夫を行っている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		特定の保護者になりがちだが、オープンに設定している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	社会福祉法人ルロフと常に事業相談を行える環境がある	職員への共有事項がある場合にはわかりやすく、情報開示を行う
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			時間を設定することが難しい
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		機会がない（2名）
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		そういった場がない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	保護者面談を丁寧に行い、埋め合わせている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		機会がない（2名） まだ卒業生がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	機会を提供したが、参画がなかった	機会がない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	参加者を専任している	機会がない（2名）
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		毎月、参観日を設定して日ごろの活動を見てもらったり、一緒にプログラム参加を頂いている	特定の保護者に固定されているため、より多くの保護者に参加をしてもらえるように開催曜日を月ごとに変更する工夫を行う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		特定の保護者が利用している 毎月参観日等を開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情記録を残し、今後のアクションを考案している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			定期発信などの工夫を行い、広く保護者へ周知を促す工夫が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			そのような児童が通所していない為、機会は今までない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			安全計画を今後充実していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		周知はしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	拘束が必要なシチュエーションがない（2名） 保護者に事前説明を行っている	事業所でマニュアルがあり、契約時に保護者にも説明＆同意書を得ているが、そういった流れがあることを職員へもしっかりと周知させる必要がある	